



食材を届ける本吉響高校の生徒たち

## 校内募金で食材贈る

### 本吉響高「あそびーばー」支援

本吉響高校(角田泰幸校長、福祉系列の3年生が21日、気仙沼市本吉町で遊び場や子供食堂を運営する気仙沼あそびーばーの会、鈴木美和子代表)に、校内募金で購入した食材を届けた。翌日の子供食堂にも協力した。昨年度の3年生が

初回のこの日は、6月に集まった8500円で、農業系列の生徒らが育てたナス、ピーマン、ズッキーニなどの夏野菜をはじめ、ジャガイモ、タマネギなどを購入。子供が喜ぶような肉類やチーズ、カレーなどは校外で調達し、福祉系列の生徒4人が教職員と

もに、寺谷地内にある同団体の遊び場に届けたい支援で、皆さんが先輩から活動と引き継いでくれただけでもうれしい。支援を受けた子供たちは、同じような思いを持った大人に成長していくと「思う」と感謝した。同校は今後も福祉系

列で募金活動を続けながら、遊び場と子供食堂の支援、農業系列では育てた野菜、花の苗などを贈ることになっている。福祉系列の千葉妃菜さんは「高校生の自分たちでも活動の力になれることを実感した。支援や交流を続けながら、後輩につなげてい